

教育研究評議会議事録（第208回）

日 時：令和3年11月25日（木） 15時00分～16時01分

場 所：事務局第一会議室及びオンライン会議

出席者：小川、藤代、喜多、水野、佐々木、比屋根、藪、宮本、山本（欣）、横山、宇佐美、八代、伊藤、上村、田代、宇塚、関野、境野、丸山、松岡、山本（昭）、鎌田、清水、長田、大石、船崎、村上、小藤田、山下

配付資料

- | | |
|-----|--|
| 議題1 | 「分子接合技術研究センター」の設置について |
| 議題2 | 国立大学法人岩手大学コンプライアンス基本規則の制定について |
| 報告1 | 「国立大学法人の中期目標及び中期計画の素案についての意見等（案）」への対応について |
| 報告2 | 科学研究費助成事業 令和3年度採択結果・令和4年度申請状況について |
| 報告3 | 学長・副学長会議報告（第218回～第219回） |
| 報告4 | 令和3年度入試委員会（第4回）議事録 |
| 報告5 | 令和4年度入学試験実施状況【学部（学校推薦型選抜及び総合型選抜、編入学）】【大学院】 |

議事に先立ち、前回議事録について、原案のとおり議事録を確定することとした。

議 題

1. 「分子接合技術研究センター」の設置について

学長から、「分子接合技術研究センター」の設置について審議する旨が述べられ、次いで、水野理事から、資料に基づき、設置の目的、組織、研究支援、経費、令和元年度から採択された「文科省地域イノベーションエコシステム形成プログラム」の概要及び本学の「分子接合技術」研究の変遷・展開について説明があった。

審議において、以下の質疑応答が行われた。

- ・研究スペースは銀河オープンラボ等貸し実験室となっているが、学内に研究拠点を確保する必要があるのではないかとの意見があり、今後の状況により検討することを確認した。
- ・「文科省地域イノベーションエコシステム形成プログラム」で進められているプロジェクトに関して質疑応答がなされ、今後、全学的に「医療系」や「農学系」分野等にも展開し、新たな研究を構築できるのではないかとの説明があった。
- ・「文科省地域イノベーションエコシステム形成プログラム」の中間評価について質問があり、今年8月に行われた結果は「A評価（SABC）」であったこと、今後は「実用化」を明確化して進めて行くことが課題であるとの説明があった。
- ・全学のセンターとして位置づけるならば、「他学部・他分野との連携」や「新しい分野

の創出」、全国そしてグローバルに展開する構想などを具体的に示す必要があるのではないかと意見があり、プログラムで進行中の研究内容と本学の役割、将来的な展望について説明があった。

・研究員の雇用など、経済的な面のサポートも必要ではないかと意見があった。

審議の結果、原案のとおり了承し、令和4年4月1日の設置に向けて規則等の整備を進めることとした。

2. 国立大学法人岩手大学コンプライアンス基本規則の制定について

学長から、国立大学法人岩手大学コンプライアンス基本規則の制定について審議する旨が述べられ、次いで、佐々木理事から、資料に基づき、国立大学法人ガバナンスコードの趣旨を鑑みコンプライアンスの遵守に係る体制の一層の整備を行うため、本学のコンプライアンスに係る各個別事項を総括する推進体制を含めた新たな基本規則を制定するとの説明があった。

審議の結果、コンプライアンス事案への対応に関する条文については、個別の規則等における手続きとの整合性を確認したうえで文言を修正し、令和4年4月1日から施行することを了承した。

3. その他

なし

報 告

1. 「国立大学法人の中期目標及び中期計画の素案についての意見等（案）」への対応について

藤代理事から、資料に基づき、第4期中期目標・中期計画（素案）の再修正について、本学が9月末に提出した素案へ文部科学省からの指摘事項等はなかったが、指摘等がなかった大学も修正をすることが可能であるため、文部科学省からの通知内容等を踏まえ、特に「定性的な指標」について、担当役員を中心に見直しを検討しているとの報告があり、今後のスケジュールを確認した。

2. 科学研究費助成事業 令和3年度採択結果・令和4年度申請状況について

水野理事から、資料に基づき、科学研究費助成事業 令和3年度採択結果・令和4年度申請状況について、種目別・部局別の報告があった。また、令和3年度の採択率は、新規分及び全体いずれも第3期中期計画の目標値（5%増）を下回ったが、申請率は目標値（10%増）を上回り、全ての部局が100%を超えたとの報告があった。

3. 学長・副学長会議報告について

4. 入試委員会報告について

資料のとおり。

5．入試結果の報告について

喜多理事から、資料に基づき、令和4年度入試結果について、学部（学校推薦型選抜及び総合型選抜、編入学）及び大学院の実施状況の報告があった。

6．その他

なし

最後に、学長から、次回の教育研究評議会を、定例の12月23日（木）の15時から開催することが述べられた。